# 仕　　　様

| 薬 剤 量 | １Ｌ（１．１８kg） |
|---|---|
| 総 質 量 | 約２．２kg |
| 放射時間 | 約１２秒（於２０℃） |
| 放射距離 | ４～６ｍ（於２０℃） |
| 使用温度範囲 | －２０℃～＋４０℃ |
| 適応火災 | 普通火災，天ぷら油火災，ストーブ火災，電気火災 |

# アフターサービスについて

消火器についてのご質問やご不明な点がございましたら、お求めの販売店または弊社お客様相談室までお問い合わせください。


**宮田工業株式会社**

〒253-8588　神奈川県茅ケ崎市下町屋１－１－１

TEL. (0467) 85－1210(お客様相談室)


火災の消火は初期消火が肝心です。
その時あわてないために、消火器の使いかたは普段よりご家族で確認しましょう。

販売店


TS02373 08.09.


**miyata**

# 取扱説明書

住宅用強化液(中性)消火器　　キッチンアイ(ＨＫＥ－１)

このたびは、ミヤタの消火器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。
特に「安全上のご注意」はご使用前に必ずお読みいただき、正しくお使いください。

## 安全上のご注意　（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

| 表示 | 内容 |
|---|---|
| ⚠危険 | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。 |
|  | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |
|  | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

| 絵表示 | 内容 |
|---|---|
| ⚠ | このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。 |
| ⊘ | このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
| ❗ | このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |

## 安全上のご注意　（必ずお守りください）

消火器は圧力により消火薬剤を放射します。高圧のガスを使用しておりますので、消火器の取扱いに際しては、次の項目をお守りいただき、正しくご使用ください。

### ⚠危険

**■錆・傷・変形のあるものは使用しない。**

消火器が錆や傷等で強度劣化した場合、容器内の圧力により破裂する恐れがあります。
●消火器の外観に異常があるときは、お求めの販売店または弊社お客様相談室にご相談ください。

**■火の中に入れない。**

消火器を火中に投じると本体容器内の圧力が高くなり破裂する恐れがあります。
また、熱湯や熱風をかけて本体容器を加熱した場合にも同様に破裂の恐れがあります。
●消火器を直接火に投げ込まないでください。

### ⚠警告

**■人に向けて放射しない。**

消火器から放射される消火薬剤が直接顔に当たると、呼吸困難や失明等の恐れがあります。
●消火薬剤が顔や皮ふにかかった場合には、水道水等でよく洗い流してください。
目に痛みを感じたり、充血した場合には、医師の診察を受けてください。

**■消火の際、火元に近づき過ぎない。**

天ぷら油等の油火災では、放射の勢いで油が飛散し、火傷の恐れがあります。
●炎より２ｍ程度はなれて使用してください。

**■電気火災では、床や壁に飛び散った消火薬剤に触れない。**

飛び散った消火薬剤を通じ感電する恐れがあります。
●消火後すみやかに電源を切ってください。

### ⚠注意

**■温度の高い場所に設置しない。**

＋４０℃を越す高温の場所では本体容器内の圧力が高くなり危険をともないます。
●消火器は使用温度範囲内（－２０℃～＋４０℃）の環境に設置してください。

## 安全上のご注意　（必ずお守りください）

### ⚠注意

**■設置場所に予想される火災への適応性を確認する。**

消火器には適応火災（普通火災適応、天ぷら油火災適応、ストーブ火災適応、電気火災適応）の表示がされています。
火災の種類によっては消火できない恐れがあります。
●設置場所で想定される火災の種類に適応した消火器であるかよく確認してください。

**■水をかけない、湿気の多い場所に設置しない。**

湿度の高い場所への設置や、水、油、調味料（塩、醤油、味噌等）が付着することにより腐食等の性能劣化を起こし破裂の恐れがあります。
●消火器は室内の風通しのよい湿度の少ない場所で、水等がかかる恐れの無い場所に設置し、汚れのひどいときは固くしぼった雑巾でふき、乾いた布で仕上げてください。

**■幼児の手の届かない場所に設置する。**

小さなお子様のいたずらにより消火器が作動すると、消火薬剤が勢いよく放射し、大けがをする恐れがあります。
小さなお子様が誤って使用しないよう十分注意してください。

**■消火器を転倒・落下させない。**

地震や振動等により、消火器が転倒・落下しないように設置してください。
また上から物が落ちて消火器が損傷を受けやすい場所は避けてください。

**■「消火器の正しい使い方」をよく確認する。**

消火器は人が操作して消火を行う道具です。
●消火器の使用方法は普段より、よく確認してください。
●消火器に記載されている適応火災、放射時間、放射距離等をよく確認してください。

**■分解・修理・改造は絶対にしない。**

消火器は高圧のガスを使用しているため、分解・修理・改造により破裂の恐れがあります。

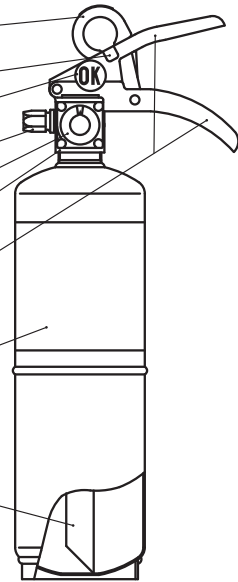
**■有効期間を過ぎたものは使用しない。**

普段より有効期間の終了年を確認し、定期点検を実施してください。
有効期間を過ぎたものは消火器の性能劣化が予想され、作動したときに破裂の恐れがあります。
●定期的に確認し、古くなったものは、新しい消火器と交換してください。

**■消火器はみだりにすてたり、放置しない。**

不要となり廃棄された消火器が放置され、他の人が誤って操作した事により破裂事故につながる恐れがあります。
●不要となった消火器を廃棄する場合は、お求めの販売店または弊社お客様相談室にご相談ください。

# ご使用の前に

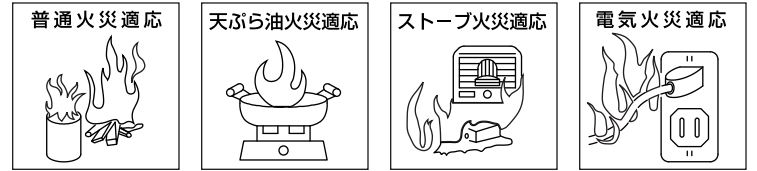
## ①各部のなまえ

## ②設置場所について

■消火器は、梱包箱から取り出して設置してください。
■幼児の手の届かない場所に設置してください。
■通行や避難に支障がなく、万一の火災時に目につき、持ち出しやすい場所に設置してください。
■消火器の金属部分や塗装部分が、床や壁その他装飾品に接触することにより変色や変質、損傷させる恐れがあります。
設置の際はシートなどを用いて消火器が直接装飾品等に触れないようにしてください。
■消火器は、使用温度範囲内（－２０℃～＋４０℃）の環境に設置してください。
高温の場所、湿気の多い場所、腐食性ガスが発生するような場所には設置しないでください。
■地震や振動により、消火器が転倒・落下しないように設置してください。

# ご使用の前に

## ③知っておいていただきたいこと

### １）適応火災について

消火器には、火災の種類に応じて適応する火災が表示してあります。お求めいただいた消火器が設置場所で想定される火災の種類に適応しているものであるかご確認ください。
■下記表示の火災に適応します。

### ２）消火にあたって

■消火は風上より行い、炎から２m程度はなれたところから放射してください。特に天ぷら油火災の消火は、鍋から近いと油がとびちることがありますので、２m程度離れて放射してください。
■容器は立ててお使いください。
■消火器のレバーを強くにぎるとすぐに消火薬剤が放射します。
■炎の下を手前から掃くように消火器を左右に振りながら放射し、順次前方に進んで消火します。天ぷら油火災の消火の際は、消火薬剤が鍋の中に入るようにして放射してください。
■一度消火してもまた火がつく場合がありますので、最後まで火元に向けて全量放射してください。
■消火後は、必ず火元を確認してください。
消火後の火元は、おき火が残っている場合や、油やガスが漏れていることがありますので、必ず火元を確認してください。
・ガスコンロ、ガス器具等の火災では、消火後すみやかにガスの元せんを締めてください。
・電気設備、電気器具等の火災では、電源を遮断してください。
■逃げ道を確保しながら消火してください。
火災により発生した煙やガスは人体に有害ですので、吸入しないよう注意してください。

### ３）消火薬剤について

■消火薬剤は、安全性の高い食品添加物を使用しており、人体に対し有害性や毒性はほとんどありません。
■飲み物ではありませんので故意に口に入れないでください。

# 消火器の正しい使いかた

■消火器の使用方法は普段より、よく確認してください。

■放射中にレバーをはなせばとまります。
■一度消火してもまた火がつく場合がありますので、全量放射してください。
■消火器のためし放射はしないでください。
いざ火災という時に使用できません。
■一度放射したものは再使用できません。

# 維持・管理について

■消火器のネジなどをゆるめないでください。
破裂の恐れがありますので、消火器の部品（キャップ、ノズル等）をゆるめたり、分解、改造等は絶対にしないでください。
■消火器の上部にある黄色の安全栓は誤作動を防止するためのものです。
不用意に抜き取らないでください。
■消火器は、ほこりや湿気を嫌います。やわらかい布で、時々きれいに掃除してください。
消火器に水、油、調味料（塩、醤油、味噌等）、ほこり等が付着していると腐食等の性能劣化をきたし、永く使えません。
消火器の掃除に、ベンジン、シンナー、ガソリン等は使用しないでください。
汚れのひどいときは、固くしぼった雑巾でふき、乾いた布で仕上げてください。

# 定期点検のお願い

■消火器がいつでも使用できるように、点検を実施してください。
■定期点検で異常が発見された場合は、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室にご相談ください。

| 点検箇所 | 点　検　内　容 | |
|---|---|---|
| ＯＫマーク | (OK) 表示がついていますか？ | 使用済の表示がでているものは使えません。新しいものと交換してください。 |
| 指示圧力計 | 指針が緑色範囲にありますか？ 正常 ○ ✕ | 緑色範囲から外れているものは使用済みの場合があります。 |
| 封　印 | 封印が破れていませんか？ | 破れているものは使用済みの場合があります。 |
| 安全栓 | 安全栓がついていますか？ | はずれているものは使用済みの場合があります。 |
| 消火器の外面 | 本体容器、キャップ、レバー等に変形・ゆるみ等の異常はありませんか？ | 異常のある場合には直ちに使用を中止してください。破裂の恐れがあります。 |
| 有効期間の表示 | 本体容器に表示の「有効期間の終了年」を経過していませんか？ | 「有効期間の終了年」を経過している場合は新しいものと交換してください。性能劣化している恐れがあります。 |
| 設置場所 | 設置場所は適切ですか？ | 「設置場所について」の項目をお読みいただき、正しく設置してください。 |

# 消火器のご使用後について

■飛散した消火薬剤はすみやかに掃除してください。
消火薬剤の掃除の際は、ゴム手袋をして、よく水洗いしてください。
水洗いできないものは水で濡らした雑巾でよく拭き取ってください。
■この消火器は住宅専用消火器で再充てんできない構造になっています。
有効期間終了後やお使いになった後は、新しいものと交換してください。
■廃棄する場合は、みだりに捨てたり放射しないで、必ずお買い上げの販売店または弊社お客様相談室にご相談ください。